

(第2号様式)

島特第 号
令和8年3月17日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立島尻特別支援学校
校長 岡越 猛
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和7年7月3日(水)	場所	島尻特別支援学校 大会議室(農場棟2F)	出席 状況	5名
第2回	日時	令和7年12月1日(月)	場所	島尻特別支援学校 大会議室(農場棟2F)	出席 状況	5名
第3回	日時	令和8年2月24日(火)	場所	島尻特別支援学校 大会議室(農場棟2F)	出席 状況	4名

2 学校評議員に求めた事項

- ① 学校におけるカスタマーハラスメント対策について
- ② 今年度・次年度に向けた学校施設・設備に関すること
(エアコン修繕・LED化工事による教室不足、給食厨房の狭隘化について)
- ③ 就労選択支援について
- ④ 学校評価(ゆとり/裁量ある時間の確保)について

3 学校評議員の意見

- ① カスハラ対策について、建設的な意見や協働的に育んでいくという意味合いが感じられるような伝え方にしたらどうか。
- ② 学校施設の充実、改善に向け、根気強く県と交渉して行って下さい。
- ③ 就労選択支援制度は新制度として令和7年10月からスタートしており、事業所でも研修を行い模索中である。新制度について資料提供していく。
- ④ ゆとりの捉えについて、時間の確保もあるが、狭隘化した環境では「ゆとり」を感じにくい要素も考えられる。個々のタイムスケジュールのイメージと環境要因も含めて考察するとよい。

4 学校運営に反映した事項

- ① 学期ごとの学校だよりの中に、コラムを設けて情報発信を行った。全国の動きを紹介しながら、本校における働き方改革の視点も取り入れた伝え方で発信した。
- ② 教室不足の緩和に向け、教室配置検討を行った。工事については、県と調整し休業中での対応となった。
- ③ 職員向けの学習会、PTA講話を開催し、就労選択支援について共通認識の機械を設けた。
- ④ 校務分掌の持ち方、持ち時数の見直しなど、改善できる点から推進した。

5 課題その他

○第2回の評議員会では、給食の試食の場も設け、本校の食育について伝えるとともに、限られた厨房で、形態食(ミキサー・粗刻み、細刻み)等の医療的ケアを要する児童生徒の対応も行っていることを知っていただき、児童生徒増の影響が、給食提供や厨房での労働環境にも影響が出ていることを共有した。